



連携団体

八王子市、町田市

(1)取組の背景、経緯

○生活圏・経済圏を深く共有する相模原市、八王子市及び町田市(以下「3市」という。)は、これまで都県を越えて公共施設や行政サービスの相互利用などを進めるとともに、3市広域行政担当職員で構成する「絹の道都市間連携研究会」(H20年度設置)において共通する政策課題等に関する調査・研究を行ってきた。

○今後、3市圏域においても人口減少や少子高齢化の急速な進行が見込まれる中、多様化・複雑化する住民ニーズや地域課題に適切に対応していくためには、客観的データ等を踏まえた広域連携施策の検討・実施に加え、継続的な行政連携に繋げるための推進体制について検討することが必要である。

(2)取組の内容

①現状及び将来を見据えた課題についての基礎調査

3市の行政需要や経営資源等に関する長期的な見通しなど客観的データの分析を行い、3市圏域の未来予測と広域的に解決すべき課題について整理した。

(主な内容)

- ・2040年頃の行政サービスの維持・向上に影響を及ぼすと考えられる外部環境変化の整理
- ・人口構造、産業構造、都市機能、財政等の現状・将来推計の分析
- ・住民アンケート・パーソナリティ調査を踏まえた3市の人の動きの分析
- ・上記を踏まえた地域の未来予測の整理、地域づくりに関する考察

②3市における公共施設の共同管理・再編等に向けた検討

3市職員による個別事業検討チームを設置し、効果的・効率的な行政運営に資する公共施設の共同管理・再編等の導入可能性について検討した。

(主な内容)

- ・モデル施設の設定・視覚化による広域連携の分析・検討、広域連携のパターン・手順・ポイントの整理

③圏域全体における産官学連携体制構築に向けた検討

3市職員による個別事業検討チームを設置し、圏域全体における若者人材の確保・育成等を図るために3市と産・学が連携して取り組むべき具体的施策と、その効果・継続性を高める産官学連携体制について検討した。

(主な内容)

- ・学生アンケート・高等教育機関アンケート・企業アンケートの実施、アンケート調査結果を踏まえた産官学で取り組むべき施策・取組、連携体制の検討

④圏域の未来像を見据えた3市推進体制構築に向けた検討

本委託事業の成果を活用し、具体的な施策の検討・実施に繋げるための3市推進体制構築の方向性について整理した。

(3)取組の特徴・ポイント

①現状及び将来を見据えた課題についての基礎調査

3市の人の動きの分析では、統計データに加え住民アンケートを実施することで、3市の人の動きの現状を的確かつ網羅的に把握できた。

②3市における公共施設の共同管理・再編等に向けた検討**③圏域全体における産官学連携体制構築に向けた検討**

個別事業検討チームの設置により事業課職員同士が交流するきっかけとなっただけでなく、各チームにおいて各市の課題・取組等も共有しながら3市が連携して取り組むべき課題や施策の方向性等について検討することができた。

④圏域の未来像を見据えた3市推進体制構築に向けた検討

今年度の成果を踏まえながら、圏域の未来像についての議論や具体的な施策の検討及び実施に向けた取組など、将来を見据えた課題に対する調査・研究についても持続可能な形で3市推進体制の構築を図っていくことを確認した。

(4)今後の展開

○本委託事業の成果を踏まえ、3市間の連携をさらに強化・深化し、持続可能な都市として共に成長を遂げるため、3市首長が「地域の未来像」について議論する3市首長懇談会を令和5年5月30日に開催する。

○引き続き「絹の道都市間連携研究会」においても、今年度の成果や3市首長懇談会を踏まえ、更なる調査・研究等を行っていく。

○今年度設置した個別事業検討チームの枠組みも活用しながら、3市事業課において継続的な取組が可能となるような体制について検討する。